

令和6年度事業計画案

<情報提供事業>

○楽しい子どもニュース「アッタくん」の発行

毎月1100枚発行で、224号から235号まで計12回発行する予定。毎月の挨拶やお知らせ、活動の様子を撮った写真、イベントの告知や報告に加え、活動中の子どもたちの様子や出来事、町のイベントの情報など、子どもたちや保護者の方はもちろん地域の方々にも楽しんでいただけるような情報紙にしていく。

現在、楽しい子どもニュース「アッタくん」を配布しているのは、町内の小学校（酒々井小学校、大室台小学校）、ナリタヤ、SENDO、タイヨーなどのスーパーやJR酒々井駅、まがり屋、公共施設（酒々井町役場、酒々井町中央公民館など）、社会福祉協議会、プリミエール酒々井、駅前交流センター、順天堂大学などである。

子どもたちに新たな発見が『アッタ!!』と感じてもらえるような情報、イベントの告知、また地域の方々にも読んでいただけるような工夫をすることで、酒々井町全体で情報を共有でき、つながりを作るきっかけとなる情報誌にしていきたい。

○ホームページ、Instagramの運営

ホームページでは、イベントの募集や楽しい子どもニュース「アッタくん」を掲載する。Instagramでは、主に学生にB-Netの活動を知ってもらうために、B-Netの活動やイベントの告知を掲載している。また私たちの活動を多くの人に知ってもらうため、B-Netがどのようなことを行っているのか、楽しい子どもニュース「アッタくん」や日々の活動の様子をホームページ上で見られるようにする。今年度は特にInstagramを活用したSNSでの周知活動に力を入れていきたい。

Instagram → https://www.instagram.com/b_net.kodomocenter/

ホームページ → www.b-net.or.jp

○B-Net 掲示板

B-Net 子どもセンターのフェンスに設置しているB-Net 掲示板を活用し、イベントの告知や子ども食堂のポスター、子ども教室アッタくんの活動状況等の報告などを、保護者の方々をはじめ地域の方々に随時お知らせしていきたい。

○『CANPAN』にて情報を公開

日本財団が提供する公益事業サイト『CANPAN』にてB-Net 子どもセンターの概要などの情報を公開している。公開レベルに合わせて星をつけてもらうことができ、満点が星5つのところ、現段階で星5つをいただいている。

<子育て支援事業>

自然体験・文化体験・宿泊体験

I 設定の理由

平成23年4月から『生きる力』をテーマとした新学習指導要領が小学校で導入された。『生きる力』をテーマとした背景には、変化の激しいこれからの社会を生きるために、確かな学力、豊かな心、健やかな体の知・徳・体をバランスよく育てていきたいという思いがある。そこで今年度も私たちは様々な体験を子どもたちに提供し、『生きる力』の育みに携わりたいと考えた。確かな学力の育みとして、各イベントではクイズやネイチャーゲームを行うなど、楽しみながら自然や季節にまつわる知識や情報を身につけてもらう。そこで自ら考え、判断することで問題に対応し、解決する力を育てられる。また新たなことに興味や関心をもつきっかけともなる。豊かな心の育みは、自分のことだけ考えるのではなく、他人への思いやりを養うことである。活動中には子ども同士や大学生スタッフ、地域の方々とのコミュニケーションをとる機会がたくさんあり、人と関わる中で育てていきたい。健やかな体は、それぞれの活動で体を動かし、実際に体験することで育てられる。家庭や学校生活とは異なる『生きる力』を育む場となるような活動をしていきたいと考えた。

II 企画／提案のコンセプト

自然体験：身近な自然に触れることで、子どもたちの五感を刺激する。また協力してくださる地域の方々のお話を聞くことを通して、学びを深めたり、礼儀や聞く力を養ったりする。

文化体験：子どもたちの考える力の育成や発表の場、自己表現の場とする。古来から伝わる日本の文化や伝統について学び、教養を深める。

宿泊体験：異学年との交流を通して、相手を思いやる気持ちや協力する大切さを養う。また、自分のことは自分でするといった自立への基礎も養っていきたい。

これらの活動を通して、子ども同士や学生、地域の方々とのコミュニケーションを図るとともに、子どもたちが様々なことに気づき、新たな分野に興味・関心を持つきっかけとなるようなイベントを開催する。

III 提案の目標

日常ではなかなか体験できないことを通して、今までとは異なる考えや思いを持ち、新たな分野に興味・関心を広げてもらう。その中で異学年、異世代の人とコミュニケーションを図り、人への思いやり、協力する大切さを養う。同時に聞く力や自己を表現する力、課題を解決する力を高めていく。

IV 企画／方法

- ① 体験活動の内容を企画し、様々な体験ができる機会の提供。
- ② 里山フォーラム、根古谷水と環境保全事業の方々をはじめ地域の方々のご協力で、体験場所を提供。
- ③ 地域や順天堂の大学生のボランティアを募る。
- ④ 情報紙アッタくんや掲示板で告知。
- ⑤ イベントの中で、子どもや大人も楽しめるプログラムを実施。
- ⑥ スタッフから子どもたちへのフィードバック。
- ⑦ 保護者とのコミュニケーションを積極的に行い、連携を図る。
- ⑧ 情報紙アッタくんでの報告や活動写真を掲載。

V 企画／提案のターゲット

主に小学生対象(1回30名程度)

VI 企画／提案の展開概要

実施日：年 12 回（予定） 基本的に土曜日・祝祭日の午前 9 時から～午後 12 時半
屋外活動の際は予備日を翌日(日曜日)に設定する。

<体験の流れ>

午前 9 時集合→挨拶→活動スタート→活動のまとめ・挨拶→後片付け
→感想カード記入→解散(午後 12 時を予定)

[活動予定]

《子どもゆめ基金助成事業》

日 程	実施内容
4 月 20 日(土)	タケノコアドベンチャー (たけのこ掘り)
5 月 11 日(土)	米どいん酒々井 2024 (田植え)
5 月 26 日(日)	みんなで育てて、美味しいお芋ゲットだぜ! (苗植え)
6 月 15 日(土)	郷土料理巡り旅 (料理教室)
9 月 14 日(土)	米どいん酒々井 2024 (稲刈り)
11 月 2 日(土)	みんなで育てて、美味しいお芋ゲットだぜ! (芋掘り)
12 月 14 日(土)	みんなでジングルベル!
1 月 6 日(月)	実(巳)を結ぶ 1 年にしよう!
2 月 22 日(土), 2 月 23 日(日)	B-Net スターツアーズ 2025 (星空合宿)

上記の 9 のイベントは子どもゆめ基金から助成金をいただくことができる。
予定では 693,000 円。

《その他イベント》 ※開催検討中

日 程	実施内容
9 月頃	B-Net 子ども夏祭り 2024
3 月中旬～下旬	スペシャルアッタくん

VII 展開での収益状況

○参加費収入

月	詳 細	1 人あたり	参加人数	実施回数	合計
4.5.6.9.11.12.1.3	参加費	500	30	9	135,000 円

	詳 細	1 人あたり	参加人数	実施回数	合計
星空合宿	参加費	5,000 円	30	1	150,000 円

VIII 開催期日・広告方法

告知は「情報紙アッタくん」「B-Net 掲示板」「ポスター掲示」「ホームページ」「SNS」を中心に行う。

参加募集の締め切りは参加者傷害保険加入のため開催の 3 日前とする。またイベントの最後に次のイベントの告知を行う。

IX 展開における期待効果

- ① 様々な活動を行うことで、好奇心旺盛な子どもたちの興味・関心をさらに高めることができる。
- ② 酒々井の自然を感じたり、歴史を学んだりすることで、自分が住んでいる町の良さを知る。
- ③ 地域の方々や大学生と関わることで、コミュニケーション力を高め、目上の人との話し方や接し方を学ぶ。
- ④ 異なる学年や学校の子どもたちが一緒に活動することで、新たな人間関係を築くことができる。
- ⑤ 作品作りなどを通して子どもたちの創造力や自己を表現する力を養える。
- ⑥ 活動を通して「生きる力」を育むことができる。
- ⑦ 宿泊を通して、身の回りのことを自分で行う力を身に付けたり、親元を離れる経験をしたりすることで、自立へのステップとなる。
- ⑧ 子どもが子ども同士や大学生、地域の方々と一緒に活動することで、人と協力したり、相手のことを考えたりすることができる。

○B-Net 子ども教室 アッタくん

I 設定の理由

子どもたちに自分の興味・関心の幅、可能性を広げてもらいたいということがこの活動の一つの目的である。近年、子どもたちと関わっていて感じることは、失敗することを恐れて新しいことにチャレンジしようとする子どもが増えているということである。そこでこの活動では、いろんな遊びを楽しんだり、人と関わったりしてもらうことで、自分に制限をかけることなく、様々なことにチャレンジできるようになってほしい。また、放課後に子どもたちがのびのびと遊べる居場所が少なくなっているという現状がある。安心して遊べる環境をつくり、子どもたちの成長を見守りたいと考えた。子どもたちが何度も足を運ぶことによって、ここが自分の居場所だと思えるようなアットホームな雰囲気を目指して運営したい。その中で異学年の子どもが一緒になって遊べる貴重な場として、また子どもたちの自主性、協調性を育む場となるように活動していきたい。

II 企画／提案のコンセプト

子どもたちが安心してのびのびと遊べ、新たな友だちを作れる空間（居場所）として、地域の方々や学生が連携し、安全面に配慮しながら運営をする。子どもの自主性や希望を尊重し、また異学年の交流を大切にしながら、子どもたちの遊びのサポートを行っていく。

III 提案の目標

地域の方々や学生が協力し子どもたちを見守ることで、安心して遊べる環境を提供することができる。その中で子どもたちが充実した時間を過ごすことで、より良い成長のきっかけとなるような活動を目指す。

IV 企画／方法

- ① 毎回の活動後に当日の反省会と次回に向けた改善点、イベントについて等の会議を行う。
- ② 地域のイベントなどに積極的に参加し、地域の方々や繋がりを、子どもたちが様々な体験ができるように協力を依頼。
例：酒々井町で活動する様々な団体やボランティアの方々や連携を図り、酒々井町の特徴を生かしたイベントを企画する。
- ③ 情報紙、口コミ、ネットを中心に活動を地域に広め、新規協力者を積極的に模索する。
- ④ B-Net 掲示板を利用して、活動の様子やイベントの連絡、B-Net の取り組みを保護者や地域の方々に伝える。
- ⑤ 活動後のお迎えの際に保護者の方とのコミュニケーションを積極的に行い、また保護者の方々に手

紙を通して情報を提供することで連携を図る。

V 企画／提案のターゲット

酒々井町在住の小学生及び近隣市町村小学生対象
 子ども教室実施：毎週1回（木曜日） 午後3時～5時
 実施場所：B-Net 子どもセンター
 スタッフ会議の実施：毎週1回活動後実施
 広報紙の作成：毎月発行予定
 その他子ども教室開催に関する事務作業一切

VII 展開での収益状況

収入：参加費

*子ども教室に参加する子どもたちから、子ども教室運営費として1200円を徴収し、全員スポーツ安全保険800円に加入していただく。保険はイベントにも適用、来年3月まで有効。

VIII 開催告知

広報紙・参加者募集チラシ・他誌への掲載依頼を中心としてB-Net 掲示板やHPなど。

IX 展開による期待効果

- ① 子どもたちの興味・関心の幅を広げることができる。
- ② 子どもたちの「人を思いやる心」、「助け合い、協力し合う心」の育成。
- ③ 子どもが子ども同士やスタッフと会話をし、コミュニケーション能力を高めることができる。また目上の人との話し方を身に付けることができる。
- ④ 子どもたちが活動を通して新たな発見をし、物事について考える機会になる。
- ⑤ 子どもたちが活動する環境、町内において子どもが安心して遊べる空間が充実する。
- ⑥ 子どもだけでなく地域の方々を含めた活動を展開していくことで、子どもたちが様々な経験、体験をする機会が増える。
- ⑦ 子どもセンターで活動することで、子どもたちが自ら遊びを創出することができる。
- ⑧ 外で遊ぶことにより体力の向上を図る。
- ⑩ スタッフにとって、子どもたちと触れ合う貴重な経験の場となる。

◆ B-Net 子ども教室 アッタくん年間計画

I 日程計画表

	令和6年									令和7年			計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
平日	3	5	4	3	0	4	5	4	3	4	4	2	41

○参加費収入

月 日	詳 細	1人あたり	参加人数	小計	合計
4月から3月	運営費 保険料	1,200 800	20	24,000 16,000	40,000円

○酒々井町放課後子ども教室

I 設定の理由

平成 19 年度より始まった『放課後子どもプラン』は、地域社会の中で放課後や週末等に子どもたちが安心して、健やかに成長できるよう、文部科学省の『放課後子ども教室推進事業』と厚生労働省の『放課後児童健全育成事業』を一体的あるいは連携して行うものです。平成 20 年から酒々井町から B-Net 子どもセンターに委託され、企画、運営している。

今年度も地域の方々に協力いただき、篠笛・昔遊び、卓球、習字、折り紙、造形、スクエアダンス、将棋、マジックといった様々な教室を開催することができる。子どもたちが安心して活動できるように、安全に配慮しながら活動を行っていく。

II 企画／提案のコンセプト

放課後の子どもの遊び相手、学習アドバイスをしたり、様々な体験教室を開いたりする。活動中や下校時の安全に配慮しながら活動を展開していく。

III 提案の目標

地域の方々と協力しながら、子どもたちが様々な体験をしたり、異学年・異年齢交流ができた環境をつくる。子どもにとって充実した放課後となるような活動を目指す。

IV 企画／方法

毎回行う活動後のミーティングでその日の反省を学生スタッフや地域の方々と話し合い、次にそれらを活かし、よりよい活動を行えるようにする。

V 企画／提案のターゲット

大室台小学校、酒々井小学校の小学生を対象。

VI 企画／提案の展開概要

① スタッフミーティングの開催：毎回の活動後

② 放 課 後 子 ども 教 室 実 施 ： 【 活 動 日 時 ・ 場 所 】

・酒々井小学校（主にランチルーム、体育館、多目的ルーム）

毎週火曜日 放課後～16時30分まで

・大室台小学校（主に大ちゃんルーム、体育館、校庭）

毎週月曜日 放課後～16時30分まで

VII 展開での収益状況

なし

VIII 参加の告知

放課後子ども教室だよりが中心。

IX 展開による期待効果

① 子どもたちの放課後の時間を利用した、様々なかかわりや体験の創出。

② 地域の方々にも協力、参加してもらうことで様々な世代の交流ができる。

③ 地域の方々と協力し取り組むことで、子どもたちを見守る人々が増える。

④ 子どもたちが興味のある活動に参加することで自主性を育むことができる。

⑤ 昔遊びや造形教室、スポーツ教室を通して様々な体験をし、新たな発見ができる。

⑥ 思い切り体を動かして遊ぶことにより、体力向上を図る。

- ⑦ 子どもたちが安心して活動できる環境が充実する。
- ⑧ 地域の隠れた人材を発掘できる。

X 放課後こども教室年間計画

I 日程計画表

	令和6年									令和7年			計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
開催数	2	6	6	3	0	4	7	5	3	3	5	3	47

II 特別教室一覧

小学校	内 容
酒々井小学校	造形教室、習字教室、折り紙教室、篠笛・昔遊び教室、スクエアダンス教室、将棋教室、マジック教室、造形教室
大室台小学校	卓球教室、折り紙教室、習字教室、篠笛・昔遊び教室、スクエアダンス教室、将棋教室、マジック教室



<町づくり等事業>

○子ども食堂

I 設定の理由

子ども食堂は2012年にスタートを切り、その後全国的に広がっている。その要因として、2009年に政府が初めて相対的貧困率を公表したこと、また、子どもの貧困層の増加が挙げられている。

子ども食堂を開くことで、子どもたちが安心して温かいご飯を食べられる場所を提供したい。また、地域の高齢者、大人の方なども積極的に参加して頂き、幅広い年齢層の方々の地域交流の場としてもある。

II 企画／提案のコンセプト

一人で夕飯を食べている子どもたちに、一人ではなく、地域の人や他の子どもたちと一緒に、温かくおいしいご飯を食べられる場所の提供をする。

III 提案の目標

地域の人と協力して、子どもたちが安心して夕飯を食べられる場の提供を目指す。また、夕飯とともに囲むことで、子どもたちとコミュニケーションをとり、お腹だけではなく心も満たす時間を作る。

IV 企画／方法

- ・月に2回、地域の方の協力を得て、B-Net 子どもセンターにて子どもたちに夕食を提供する。
- ・配膳や片付けは子どもたち自身が行う。
- ・情報紙、口コミ、を中心に活動を地域に広め、新規協力者を積極的に募集する。

V 企画／提案のターゲット

酒々井町に住む全住民。開始当初は、食事に困った子どもたちを主な対象にしていたが、子どもだけに限らず、子どもからお年寄りの方までが気軽に立ち寄れる地域交流の場にしていきたい。

VI 企画／提案の展開概要

実施日：毎月第1・3金曜日 17時から19時

場 所：NPO B-Net 子どもセンター

VII 展開での収益状況

子どもは無料。大人は200円に設定する。

キューピーみらいたまご財団様より助成金を頂く。140,000円。

VIII 参加の告知

情報紙アツタくん、掲示板に掲載。子ども食堂の看板の作成。ポスターの掲示

IX 展開による期待効果

- ①子どもの食事難や孤食に対し、皆で食べる喜びや楽しさを知ってもらう。
- ②バランスのとれた食事を提供することで、健全な子どもを育成する。
- ③地域の方々と連携し、地域全体で子育てを行い、また地域全体の活性化につなげる。
- ④配膳や片付けを子どもたちが行うことで、生活力をつける。
- ⑤地域の人や、異なる学年や学校の子どもたちが集まることで、新たな人間関係を築くことができ地域交流の場となる。

○ 《夏祭り》

B-Net 子ども夏祭り 2024

I 設定の理由

近年、新型コロナウイルスの感染拡大に伴った、緊急事態宣言やまん延防止措置法の発令などによって地域の方までも巻き込んだ大規模イベントの開催を見送らざるを得ない状況が続いていた。しかし、昨年度から地域のお祭り等も徐々に実施され始めている中で、新型コロナウイルスによって絶たれてしまった地域の方のコミュニティを再度広げるために今回のイベントを実施する。

今回のイベントでは、子どもたちが運営メンバーとして屋台を行ったり、出し物を行ったりと企画、準備、運営を子どもたち自身が行うことで、異学年の交流をより深めるとともに、協調性や達成感を味わってもらおうことを望んでいる。

家庭や学校とは異なる環境、異なる人と共に議論し、練習し、実施をすることを通して、社会体験をできる機会とし、人の笑顔を創出することの喜びを感じてもらいたい。

プログラムには、子どもたちが裁量権を持って活動することのできるものを多く組み込みたい。その中で子どもたちが失敗を恐れず、積極的に普段できないような経験によって子どもたちにとって生涯忘れられないような夏の思い出にしてもらうことを主な目的とする。また、今までに交流の無かった人たちとの交流を図ることで地域全体の活性化に務める。

II 企画／運営のコンセプト

準備から開催までを一貫通貫で子どもたちが行うことによって、自分1人ではできないことも協力することで達成することのできることを実感してもらおう機会として、今後の生活などにつなげてもらう。また、地域の方が一堂に会する場を提供することによって、新型コロナウイルス蔓延前の活気を取り戻し、酒々井町の夏の風物詩とする。

III 提案の目標

- ・集団の中で自分の意見を主張したり、他人の意見を尊重したりする態度を育む。
- ・自分たちでルールや時間を決め、守ることで、社会性を身に付ける。
- ・様々な境遇の人とコミュニケーションを取り、豊かな人間関係を作る。
- ・B-Net 子どもセンターでしか提供できない体験をしてもらう。

IV 企画／提案のターゲット

運営：小学1～6年生 20名を対象とする。

参加者：地域の方

V 企画／提案の展開概要

- ① 実施日：令和6年9月下旬
- ② 開催場所：中央台公園
- ③ 参加の募集方法：情報紙アッタくん、広報活動、公民館やスーパーなどにお知らせのポスターを貼る、
子ども教室アッタくんでの告知
- ④ 今後の日程計画：(1)情報紙アッタくん6月号にて募集を開始する。
(2)タイムスケジュールや活動の内容、その他の企画を考える。
(3)班編成やスタッフの役割等を考える。
(4)子ども会議を行い、当日の内容等を決める。

○地域交流

I 提案の理由

地域の活動に参加することによって地域の人々との交流を深めたい。新たなつながりが生まれ、お互いに情報を交換したり、活動に協力したりすることで、地域の活性化を図ることができる。またいつも B-Net の活動を応援、協力してくださっている方々に感謝の気持ちを込めて、地域の活動に参加させていただく。

II 企画/提案のコンセプト

B-Net の活動の柱でもある「町民いきいき、商店街いきいき、子どもいきいき」に基づき、イベントを通して地域住民との交流を深めるとともに、地域の活性化に貢献したい。また他団体の方とのつながりができることで、新たなイベントを子どもたちに提供することができるようになる。

III 企画/提案の目標

他の団体や活動を知り、互いに協力し合うことで、より広く、強い地域のネットワークづくりを図り、地域の活性化を目指す。学生スタッフは地域の活動に参加し、そこで得たものを B-Net や子どもたちに還元し、B-Net がよりよい活動となるようにする。また、地域の方々に広く B-Net の活動を知ってもらおう。

IV 企画/提案の展開概要

B-Net 子どもセンターの活動を紹介し、また他団体の活動に参加し、協力し合うことで、他団体や地域とのつながりをより強める。

V 展開による期待効果

- ① 地域住民の方々との交流が増え、より地域に密着した活動が行える。
- ② 他団体の方々と知り合うことで、子どもたちに新たなイベントを提供できる。
- ③ 相互に協力し合うことで、より活発な活動を行うことができる。
- ④ 地域の方々に B-Net の活動を知ってもらえることができ、B-Net の活性化につながる。

<令和 6 年度の計画>

- 酒々井町スポーツ・レクリエーション祭
- 新酒祭
- 根古谷水と環境保全事業に協力